

植えしもまたれあ

虫かすいたあ

養の学

かきかけに



飛ぶ胡蝶

演舞会

命を

令和元年十一月十六日(土)

開場 午前十一時三十分

開演 正午

日本橋 三越 劇場 場

三越演藝會

ご挨拶

晩秋の候、皆様にはご機嫌麗しくお過ごしのこととお喜び申し上げます。
本日は御用繁多の折、小唄蓼派演奏会にお運びいただき、誠にありがとうございます。

蓼派は公式に流派登録をして以来九十二年となり、また、新元号となりました
本年は、初代家元蓼胡蝶生誕百五十周年に当たります。本日演奏させていただきました
まずご祝儀曲「よきことを」は昭和天皇御即位の年に初代家元が作曲したもので
ございます。

蓼派会は昭和五十二年に発足し、昨年より、秋に定期演奏会を開催する運び
となりました。これも偏に、蓼派の小唄を愛し、ご後援を戴いております皆様方
のご指導、ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

蓼派の小唄をより多くの方々に楽しんでいただけますよう、蓼派会一同、尚一
層の精進を重ねて参ります。最後までごゆっくりとご鑑賞下さいますよう、心より
お願い申し上げます。

令和元年十一月十六日

蓼派会会長

蓼 胡満佳
役員一同

唄

唄

糸

涼 久美

胡 葉和

は 留吉

実 生

鈴 緒音

加 津柳

替 鈴

緒

胡 志枝

輝 光しず

菫

舟

鈴 美緒

胡 文ひろ

胡 鈴子

御祝儀

蓼の花

○ 胡満佳世

○ 延は留

○ 胡文雄

は 留悠

満 ゆ佳

房 まさ香

胡 涼英

胡 満里

競 文芳

涼 恵

初 野

之 比呂

茂 毬代

升 希和

胡満和代

胡 政吉

御祝儀

よきことを 蓼の寿

○
 胡葉音 競照文 升緋奈 競三香 穂乃香 胡競静 胡与麻 房邦 佳ほる 胡一永 競静文 輝光 葉留幾 唄

○
 茂喜代 胡政清 胡一舟 胡満利 津留若 津留稚加 胡菜三 胡茂 津留葉 胡留葉 胡伊葉 胡満佳 胡競雪野 胡葉菊 茂和香 満沙 胡満佳乃 胡満佳乃 替胡宏 胡史ま由 史代 競史実 津留浅上 胡鈴子 胡文雄 胡満千加 富菫子 静竜 満葉助 房まさ 胡葉祇 津留染 胡伊葉 胡満佳 胡競雪野 胡史実 茂和香 満沙 胡満佳乃 胡満佳乃 替胡宏 胡史ま由 史代 競史実

曲目

唄

糸

1 権 牽 現 牛 堂 花

胡 文 歩

替 胡 胡 鈴 文 子 雄

2 散 片 る え は う き ぼ

胡 よ 栄

替 史 津 留 浅 実 よ

3 夢 の 柳 橋

ち よ 房

上 胡 胡 鈴 文 子 雄

4 可 湯 愛 ど い お 方

満 喜 代

胡 満 千 加

5 夏の縁日
うっかりと

史 櫻

史 実

6 上野の鐘
野暮な屋敷

胡 博雄

替 史 胡 文 雄
ま 由

7 浄瑠璃舟

初 野

替 之 競 比 雪 野
呂

8 築地明石町
あだし野

胡 満佳世

胡 満佳乃

9 空ほの暗き
浅草詣り

鈴 緒音

鈴 緒

10 網島心中

実 生

史 実

11 水さし
雪をかぶって

胡 満里

胡 満佳乃

12 辰巳の左褌
行きつ戻りつ

は 留吉

胡 宏

13 逢えるあてさえ
恋しき人

胡 凉 英

満 沙

14 美 代 吉
昔 隅 田

胡 文 ひろ

替 胡 胡 鈴 文 子 雄

15 青いガス灯

凉 久 美

満 沙

16 勝名のり

胡 葉 和

胡 葉 菊

17 萩のトンネル
待てというなら

は 留 悠

胡 宏

18 長崎ぶらぶら

升 希 和

替 史 津 留 浅 実 上 実

19 よさこい時雨

凉 恵

満 沙

20 満月
ぬれてみたさ

満 ゆ 佳

胡 満 千 加

28	27	26	25	24	23	22	21
河虫	気ひ	八棟	仇筆	籠	蟬	隅写	雲め
	によ	づく	なの	つ	し	田	にぐ
太の	入う	くり	世か	る	ぐ	川楽	かる
郎音	らた		界さ	べ	れ		け日
	ぬん						橋の

蝶	胡	輝	胡	鈴	胡	茂	加
	満	光	政	美	志	毬	津
弥	和	し	吉	緒	枝	代	柳
	代	ず					

胡	満	替 茂鈴	競	上 胡鈴	史胡	茂	胡
		和	雪	鈴	ま文	和	鈴
里	沙	香緒	野	子緒	由雄	香	子

29 露 ぶ か き

胡 葉 音

胡 葉 菊

30 うそのかたまり
うらむぞえ

胡 葉 助

史 ま 由

31 浜 町 河 岸

競 三

替之 競 比 呂代

32 お蝶 夫人
時雨 して人

輝 光

鈴 緒

33 お二人 がい
互人が 仲

佳 ほ る

胡 満 佳 乃

34 今日 一日

競 照 文

競 文 芳

35 佃の渡し
水の深さ

升 緋 奈

史 津 留 浅 実よ

36 山中しぐれ

胡 一 永

胡 宏

37 虫づくし

房まさ

房まさ香

38 楽屋をぬけて

葉留幾

津留浅よ

39 ほたる茶屋

競静文

競文芳

40 仇情八幡祭

静竜

之競比呂代

41 冬の夜

胡政清

競雪野

42 萩と桔梗

穂乃香

替胡史宏実

43 紙治

鈴子正

上鈴胡鈴子緒

44 逢うて別れて

胡葉祇

胡葉菊

52	51	50	49	48	47	46	45
夕傘 立や さつ と内	中洲 河岸 ひよ んな こと から	白氣 まぐ れ 魚 舟	三 千 歳 相 の り 車	す れ ち が い に わ か 雨	恋 の 淵 か ら く り の	木 枯 し さ ん ま ま な ら ぬ	向 島 名 所
津 留 若	延 は 留	胡 満 利	胡 与 麻	房 邦	満 葉	茂 喜 代	富 菫 子
胡 文 雄	胡 宏	替 満 胡 満 千 加 沙	胡 文 雄	競 雪 野	替 満 胡 満 千 加 沙	茂 和 香	菫 舟

53 雪ほたる
ひがのこの

胡競静

競雪野

54 新富河岸
浅黄染

津留稚加

胡文雄

55 品川の母
暇の

胡宇女

胡宏

56 春霞ひくや
もく阿弥さん

津留染

茂和香

57 待宵月

胡一舟

替史津留浅よ
実

58 定九郎

房多恵

胡鈴子

59 影絵

胡菜三

競雪野

60 結ぶ縁し
つれなくするもの

胡伊葉

替胡胡文雄
葉菊

61 落人も見るかや
宵の浅草

胡

茂

替 史
茂 ま
和 由
香 由

62 手拭いの
ままになるなら

胡

治

競 雪 野

63 主きんと
舟の船頭衆

津

留

葉

胡

宏

64 心でとめて
いわしの塩焼き

胡

満

佳

替 胡
満 千 加
沙

手
メ

終演予定 五時三十分頃

〒180-0021

武蔵野市桜堤一―一―三―三〇二

武藤方

蓼派会事務局

蓼 蝶 弥

電話 〇四二二(五三)三二二三

E-mail : info@tadeha.jp

URL http://www.tadeha.jp/